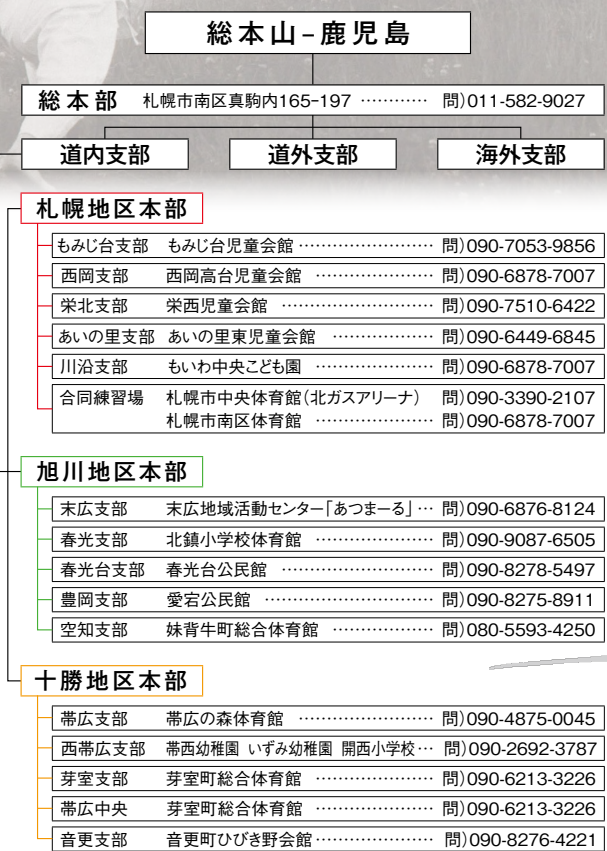


武道本来の姿は、各種武器術や徒手空拳法全般に通じているべきです。しかしながら現代の武道は、剣道や柔道のように完全にスポーツ化されたもの、或いは柔術家は柔術のみ居合道は居合道のみ…と言うように夫々が独立しているのが一般的です。

この様な中で、田浦無想流第二十九代棟梁は、家伝の古武道を基幹として、日本の各地に眠る各種武道が目の目を見ることなく、現代社会から埋没していく事を憂い、夫々の流派のみでは大会等が出来ない流派でも価値ある流派が多く存在する事に鑑みて、このような流派の皆さんの希望があれば、自由に参加して頂き同一会場で仲良く演武会を実施することを望み、平成元年に日本総合武術研究会を発足させました。

【日本総合武術研究会組織図】



古武道の創始者は、井上掃部助(かんものすけ)と言われており、井上家より井久保姓が分流し、現在第二十九代目を迎えます。杖術の創始者は井上八郎右衛門と言われ、初めは無想流を名乗っていました。その後、第二十九代(杖術第十六代)棟梁・井久保要(瑞兆)が、家伝の武術の見直しを図り集大成とすると共に、出身地である田浦の名称を冠し「田浦無想流古武道」と命名しました。これを機に、一子相伝・門外不出の武技を一般公開し、現在も有志に対し指導を続け、伝統を受け継いでいます。



「一緒に武道を学びましょう！」

日本総合武術研究会会長

田浦無想流古武道
第29代(杖道16代)棟梁
田浦流空手道宗家

井之久保 瑞兆

日本総合武術研究会では、新規会員を募集しております。現在下は5才から上は70才超えの方まで、空手道・古武道を年齢・体力に応じて、稽古に励んでおります。お気軽にお問合せください。※障害のある方も是非、ご相談ください。

講師として各種講演・セミナーも承っております

「日本の矜(ほこり)」をテーマに、日本人が海外に誇れる「環境・文化・武士道」について講演活動を行っています。

◎日本の誇り7事項「見直そう日本・気づけ日本人」

- ①日本の風土・環境 .. 自然の豊かさ、細やかさと美しさ、海外に行つて初めて知ることができる。
- ②神道 民族の心の故郷として趣が強く、日本の伝統文化であり、欧米の宗教にはない。
- ③万世一系の国 建国2682年(2022年現在)の長きにわたる皇統は世界に類を見ない。政治精神は「仁」。
- ④日本語 ひらがな・漢字・カタカナなど仮名まじり三通りの表現で、複雑で高度に洗練された最高の文化。
- ⑤長寿文化 先祖代々の言い伝えきた「衣・食・住」、礼儀・崇拝・家族制度など。
- ⑥手の文化 世界一手の器用な日本人。この手の文化が科学技術、産業発展、長寿健康の源泉。
- ⑦武士道 人として重要な生き方を示す、倫理・価値観の基準となっている。戦後薄らいでいる。

※以前にセミナー等で講演した内容を記載しています。

護身(心)術講習会・武術(道)講習会も承っております。

誰にでも簡単に出来てすぐに役に立つ護身(心)術講習会を行っています。個人から会社、学校等の単位までお気軽にお問合せください。

また、当会では学校教育において「護身(心)術」及び「武術」を教育の課程、並びに部活動等において実施して、学生に必要な危機管理能力を身に付けさせることが重要と考えています。ご賛同頂ける教育関係者等おられましたらお問合せ下さい。**「いかなる危険からも躊躇することなく脱する知識・技術・精神・心得を」身に付けよう。**

著書:「護身術・護衛術・逮捕術」(文芸社)
「もう護身術だけでは足りない! 必要な時に必要な命を守るための技術と考え方」(22世紀アート)

お問合せ

日本総合武術研究会事務局

TEL-FAX 011-582-9027

http://nihonsogobujutukenkyukai.com



初心者、他流派経験者歓迎いたします!
体験練習など、詳しくは事務局までお問合せください。

日本の伝統文化である古武道。

現代の日本が求める「武士道精神」がここに有る—

日本総合武術研究会



入門のしおり

田浦流空手道

日本最古の武道から生まれた最新鋭の空手道
TAURARYU KARATEDO

田浦無想流古武道

八百年以上の歴史を持つ真の武道 刀法、杖術、柔術、釵術、座弓
TAURAMUSORYU KOBUDO

田浦流空手道

日本最古の武道から生まれた最新鋭の空手道

現宗家・井之久保瑞兆が少林寺流空手道範士八段まで上り詰めたのち、空手の本場琉球の本流と言われる「手」の武術としての危険性を排除した「平安の型」、及び「ナイファンチ」という特殊な型を研究。原形を保持しながらも、少年部にも覚えやすいよう改善しました。

試合による競技化(スポーツ化)とともに、師範以上の者には家伝の武道就中柔術の当身・逆手・投げ技などの術理を活用した型を新設。「型」と「武術」の理合を図り、日本総合武術研究会に田浦流空手道を新設しました。

国際社会の中で、「日本人」としての自信・誇りの醸成のために、お子さまの心身の鍛錬に、第二の人生の新たな生き甲斐として、一緒に楽しく、武道を学びましょう。



小学二年生までは型の指導により足腰を強く！

型の鍛錬

のびのびと練習する子供たちのようす



少年組手

保護者の了承を得て防具付きて指導します



女子も大勢がんばっています

帯の色の意味

段級位	帯の色
8段～10段	黒に赤2本
7段	黒に白1本
初～6段	黒
1・2級	茶
3・4級	紫
5・6級	緑
7・8級	水色
9・10級	黄

10級～3段までは、3つの「基本の型」を覚えていき、大会などにも出場できます。4段からは師範となり、「破碎」の型と「和恰」の型を習得し、審査員や役員などの任にもあたります。

海外支部・国際交流 日本の伝統文化を世界に広めるために――



海外における田浦無想流古武道は、平成19年(2007年)に、フィンランド国ヘルシンキ市、エストニア国タリン、イタリア国ベニスに海外支部を開設し、海外各地で学ぶ田浦無想流古武術門下生の育成にあたっております。また、国際親善交流のための古武道演武会なども開催しております。

全ての武道は体捌きから――

各々の武術はすべて連動している。



八百年以上の歴史を持つ真の武道

現在は、「刀法」「柔術」「杖術」を三本柱として稽古していますが、「刀法」には小太刀はもとより槍術、小手手裏剣、鎌術、座弓などが含まれます。「柔術」には、捕縛術、捕手小具足が含まれており、「杖術」は、槍術や柔術に通じているなどそれぞれが独立したのではなく夫々に連動しています。構えあって構え無し…基本的な構えはあるが、構えに固執することなく演練に演練を重ねた技法を「構え」というのです。形骸化された形稽古に満足することなく姿・形よりも実践的な技法を重視すると共に、「優勝劣敗の原則」と「破邪顕正の武道」を追求しています。

田浦無想流古武道